

海にかかわる研究に挑戦したい中高生求む!

# マリンチャレンジプログラム2020

募集テーマ

## 海・水産分野・水環境にかかわるあらゆる研究



船や洋上風力発電所などの  
海や水中にかかわるものづくり



海の環境を知ることや  
守るための研究



海洋生物や水産物の生態・  
活用方法の研究

本プログラムでは、海・水産分野・水環境にかかわるあらゆる研究に挑戦する中高生研究者を対象に、研究費助成や研究サポートを行います。科学研究や海のおもしろさを知りたい、誰も答えを知らない新しいことに自分で挑戦する力を磨きたい仲間を募集しています!

助成内容

研究費5万円

各地区大会までの研究コーチ  
大会参加旅費支援(規定あり)

### プログラムの流れ

申請	2019年12月4日(水)~2020年2月10日(月)
選考	一次選考(書類選考) 2020年2月11日(火)~2月21日(金) 二次選考(オンライン面談) 2020年3月2日(月)~3月25日(水)
採択決定	2020年4月6日(月)頃
授与式	2020年4月
研究サポート	2020年4月~8月
地区大会	2020年8月
選抜チーム 研究サポート	2020年8月 ~2021年3月



全国大会:2021年3月

### 2019年度全国大会 見学者募集!(要事前申込)

各ブロックの優秀賞受賞チームによる全国大会を2020年3月に開催!

【日時】2020年3月8日(日)10:00~18:00(予定)

【場所】TKPガーデンシティPREMIUM田町(東京都港区)

【内容】参加チームの研究発表、研究者講演、ポスター交流会

※地区大会発表時

ブロック	研究テーマ	研究代表者*	学校名
東北 北海道	岩泉町龍泉洞地底湖内に繁殖した藻類調査	川原 優真	盛岡市立高等学校
	海産無脊椎動物の初期発生における 阻害因子の探求と海洋環境への影響	高村 健人	青森市立古川中学校
関東	キンチャクガニが保持している イソギンチャクについて	榊原 聖瑛	私立 サレジオ学院中学校・ 高等学校
	ヒラメ生産工場	土屋 終人	浦和実業学園中学校・高等学校
	柏崎市に生息するカサガイに交雑種は存在するの?	山崎 花鈴	新潟県立柏崎高等学校
	珪藻と緑藻でオイルを効率よく精製する細胞をつくる	佐藤 優衣	多摩科学技術高等学校
関西	さかなの腸内細菌	中崎 宏哉	大阪明星学園
	加古川における工事、災害による 河川環境の変化の研究	高田 龍之介	白陵高等学校
	知多地域におけるペットボトルの漂着条件について	柴田 涼平	愛知県立武豊高等学校
中国・ 四国	感染したイソギンチャクでは 褐虫藻に光走性の主導権があるのか?	高橋 侑佑	関西学院千里国際高等部
	海環境におけるマイクロプラスチック汚染指標の作成	福田 有佑	広島県立広島国泰寺高等学校
	好塩性・耐塩性細菌の最適増殖条件を探る	山田 宗草	愛媛県立今治西高等学校
	顎無しで砂に潜れる無顎類	松本 生成	鳥取県立鳥取西高等学校
沖九 縄州	あなたも見かけて判断するの? ~タコの認知能力を解き明かす~	仲間 楓	沖縄県立コザ高等学校
	へトロ海域における多年生アマモ苗確立の基礎的研究	竹本 響	熊本県立戸北高等学校

### 募集要項

【募集対象】中学生、高校生、高等専門学校生(3年生以下)  
による2名以上のチーム

【採択件数】(採択チーム)①北海道・東北 ②関東 ③関西  
④中国・四国⑤九州・沖縄の5ブロックで計40チーム  
(ポスター交流参加チーム※)計12チーム

※地区大会で交流ができる中高生を増やす目的で、ポスター発表に参加いただく採択枠を2020年度より新たに設定しました。助成内容は、地区大会参加旅費(規定あり)のみとなります。

【募集締切】2020年2月10日(月) 24:00

詳細・申請方法は

URL <https://marine.s-castle.com/>  
下記マリンチャレンジプログラムHPをご覧ください。

〈主催・運営〉日本財団、株式会社リバネス、JASTO(一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構)



このプログラムは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環です。

お問合せ

株式会社リバネス マリンチャレンジプログラム事務局 担当: 滝野

TEL: 03-5227-4198

E-mail: ed@lnest.jp